

南アメリカ・オセアニア州

名前

問1 南アメリカ大陸の南東部、ラプラタ川流域からアルゼンチン中部にかけて広がる広大な温帯草原について、その名称と産業の組み合わせとして正しいものはどれか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1. パンパー 小麦の栽培や牛の牧畜が盛んである。 | 2. セルバー 天然ゴムの採取や木材の切り出しが行われる。 | 3. リャノー オリノコ川流域で大規模な米作りが行われる。 | 4. カンポー コーヒーやサトウキビの栽培が中心である。 |
|---------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|

問2 南アメリカ大陸のチリ中部に位置する都市サンティアゴの気候の特徴について、正しい説明を述べているものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 南回帰線付近の大陸東岸に位置し、1月頃の夏に降水量が多く、一年を通じて温暖な温暖湿润気候に属している。 | 2. 南半球の中緯度に位置し、1月頃の夏に乾燥し、7月頃の冬に雨が降る地中海性気候に属している。 | 3. 赤道直下に位置するため一年を通じて高温多雨であり、季節による降水量の変化がほとんどない熱帯雨林気候に属している。 | 4. 大陸北部の低緯度地帯に位置し、一年中気温が高いが、雨季と乾季がはっきりと分かれるサバナ気候に属している。 |
|--|--|---|---|

問3 オーストラリアの首都であるキャンベラの成り立ちや特徴について述べた文として、正しいものを選択してください。（2021年 大阪府公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. シドニーとメルボルンの首都争いを回避するため、両都市の中間に建設された計画都市である。 | 2. アジア諸国との貿易を促進するため、北部の海岸沿いに新たに建設された港湾都市である。 | 3. 先住民アボリジニの聖地を守るため、内陸部の乾燥地帯に宗教都市として建設された。 | 4. イギリスからの独立時に、当時の最大都市であったシドニーがそのまま首都となった。 |
|--|--|--|--|

問4 1975年から2015年までのブラジルからの輸入総額の推移について、5年ごとの統計値を比較した際の特徴として正しいものはどれですか。（2021年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|--|-----------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. 輸入総額が最も多い年の金額は、1990年の輸入総額の3倍に達している。 | 2. 5年前と比較して輸入総額が減少したのは、期間中に3度である。 | 3. 輸入総額が最も少ない年の金額は、2005年の輸入総額の半分以上である。 | 4. 5年前と比較して輸入総額が増加したのは、期間中に4度である。 |
|--|-----------------------------------|--|-----------------------------------|

問5 世界地図において、オーストラリア付近を通る経線と、南アメリカ大陸北部を横切る赤道が交わる地点周辺の自然環境について、その形成理由を説明した文として適切なものはどれですか。（2017年 静岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 強い日射によって上昇気流が発生しやすく、多量の降雨がもたらされることで熱帯雨林が維持されている。 | 2. 中緯度高圧帯の影響を強く受けるため、上昇気流が発生しにくく、広大な草原地帯となっている。 | 3. 偏西風がアンデス山脈にぶつかって大量の雨を降らせるため、大陸東側のこの地点は乾燥した気候になる。 | 4. 南から流れてくる寒流によって空気が冷やされ、大気が安定するため、海岸沿いと同様の砂漠が広がっている。 |
|---|---|---|---|

問6 南アメリカ大陸の太平洋沿岸に沿って広がる標高の高い山岳地帯では、厳しい自然環境に適応するための生活の知恵が見られます。この地域において、寒さから身を守るための衣服の材料として古くから利用されている動物と、その地域の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2021年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. ヒマラヤ山脈で飼育されているヤク | 2. エチオピア高原で飼育されているラクダ | 3. アンデス山脈で飼育されているアルパカ | 4. チベット高原で飼育されているカシミア山羊 |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|

問7 南アメリカの諸国のうち、かつてポルトガルの植民地であった歴史的背景から、スペイン語ではなくポルトガル語を公用語としている国を次の中から選びなさい。（2017年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|---------|--------|-----------|
| 1. チリ | 2. ブラジル | 3. ペルー | 4. アルゼンチン |
|-------|---------|--------|-----------|

問8 オーストラリア南東部に位置する都市の気候統計では、気温を示す折れ線グラフが1月と12月に約25度で最も高くなり、7月に約10度で最も低くなる形を示します。また、降水量は年間を通じて各月100ミリメートルから150ミリメートル程度で安定しています。このような気候特性が見られる理由として最も適切な説明はどれですか。（2016年 三重県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 赤道に近い低緯度地域に位置するため一年中気温が高く、モンスーンの影響で夏に降水が集中するため。 | 2. 中緯度の大陸西岸に位置し、夏は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥し、冬は偏西風の影響で雨が降るため。 | 3. 偏西風がヒマラヤ山脈に遮られることで、年間を通じて降水量が少なく、気温の日較差が大きくなるため。 | 4. 南半球に位置するため北半球の国々とは季節が逆になり、さらに東岸では年間を通して湿った空気の影響を受けるため。 |
|--|--|---|---|

問9 南アメリカのアンデス山脈において、標高3000mを超える高地で行われている主な土地利用の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------|--------------------|---------------------------|-----------------------|
| 1. リャマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培 | 2. 稲作と、輸出用としての茶の栽培 | 3. 天然ゴムの採取と、焼畑によるトウモロコシ栽培 | 4. サトウキビの大規模な栽培と、牛の放牧 |
|--------------------------|--------------------|---------------------------|-----------------------|

問10 オセアニア州に位置する国々のうち、南半球のオーストラリアから見て南東方向に位置する島国について説明した文として、正しいものはどれですか。この国は太平洋に面しており、日本との位置関係が時差に影響を与えています。（2016年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|---|
| 1. 日本よりも東に位置し、日付変更線に近いため、日本よりも早く日付が変わる。 | 2. オーストラリアの北側に位置する島国であり、赤道に近いため一年中熱帯の気候である。 | 3. 日本とほぼ同じ経度にあるため、季節は逆であるが時差は全く存在しない。 | 4. 日付変更線のすぐ東側に位置するため、世界で最も遅く日付が変わる国である。 |
|---|---|---------------------------------------|---|

問11 ブラジルの輸出構造は、1960年代にはコーヒー豆が輸出額の約半分を占めていたのに対し、近年では大豆や鉄鉱石、機械類など多角化が進んでいます。このように、かつてのブラジルで見られた、特定の農産物や鉱産資源の生産と輸出に経済の大部分を依存する仕組みを何と呼びますか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|--------------|------------|---------------|
| 1. 輸入代替工業 | 2. モノカルチャー経済 | 3. フェアトレード | 4. ブランテーション農業 |
|-----------|--------------|------------|---------------|

問12 1960年代のブラジルでは、輸出総額の約半分をコーヒー豆が占める「モノカルチャー経済」の状態にありましたが、2020年の統計では特定の品目への依存度が下がり、複数の品目が輸出上位に並んでいます。現在のブラジルの輸出構造の変化について、適切な説明を選びなさい。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 鉱山資源が枯渇したため、現在は大豆や小麦などの穀物輸出に特化した構造に変化した。 | 2. コーヒー豆への依存がさらに強まり、輸出総額のほとんどを農産物が占めるようになった。 | 3. コーヒー豆の輸出が完全になくなり、現在は工業製品のみを輸出する先進国型の構造に変化した。 | 4. コーヒー豆の輸出割合が低下し、鉄鉱石や大豆、原油などがバランスよく輸出される多角的な構造に変化した。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 パンパー 小麦の栽培や牛の牧畜が盛んである。	アルゼンチン中部に広がる温帯草原はパンパと呼ばれます。この地域は肥沃な土壌と適度な降水量に恵まれているため、世界有数の農業・牧畜地帯となっており、特に小麦の栽培と肉牛の飼育を組み合わせた大規模な経営が特徴です。選択肢にあるセルバはアマゾン川流域の熱帯雨林、カンボはブラジル高原に広がる熱帯草原を指します。
問2	答え 2 南半球の中緯度に位置し、1月頃の夏に乾燥し、7月頃の冬に雨が降る地中海性気候に属している。	サンティアゴは南半球の中緯度、大陸の西岸に位置しており、地中海性気候に分類されます。この気候区では、夏にあたる1月前後に亜熱帯高圧帯の影響を受けて乾燥し、冬にあたる7月前後に温帯低気圧や前線の影響を受けて雨が降るという、夏と冬で降水分布が逆転する明確な特色が見られます。
問3	答え 1 シドニーとメルボルンの首都争いを回避するため、両都市の中間に建設された計画都市である。	オーストラリア連邦が成立した際、シドニーとメルボルンのどちらを首都にするか議論がまとまりませんでした。その解決策として、両都市の中間にあたる場所を首都として定め、一から街を作り上げる「計画都市」の手法がとられました。名称は先住民アボリジニの言葉に由来しています。
問4	答え 4 5年前と比較して輸入総額が増加したのは、期間中に4度である。	1975年から2015年までの推移において、5年前の数値と比較して輸入総額が増加したのは、1975年→80年、1985年→90年、2000年→05年、2005年→10年の合計4度です。1990年から2000年にかけては数値が減少している時期もあり、全ての調査時点で増加しているわけではない点に注意が必要です。
問5	答え 1 強い日射によって上昇気流が発生しやすく、多量の降雨がもたらされることで熱帯雨林が維持されている。	赤道付近は太陽からのエネルギーを強く受けるため、空気が暖められて上昇気流が発生し、積乱雲が発達して毎日のように激しい雨（スコール）を降らせます。この仕組みによって、アマゾン川流域に代表される熱帯雨林が形成されます。選択肢にある「乾燥した気候」や「寒流の影響による砂漠」は、南アメリカ大陸の西海岸や南部で見られる特徴であり、赤道直下のアマゾン川流域の説明としては正しくありません。
問6	答え 3 アンデス山脈で飼育されているアルパカ	南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈は標高が非常に高く、寒冷な気候です。この地域の人々は、古くから飼育しているアルパカの毛を利用して保温性の高い厚手の衣服を作り、重ね着をすることで厳しい寒さに対応しています。他の選択肢にあるヒマラヤ山脈やチベット高原はアジアに位置し、エチオピア高原はアフリカに位置するため、南アメリカ大陸の説明としては適しません。
問7	答え 2 ブラジル	南アメリカ大陸の大部分はスペインの植民地でしたが、現在のブラジルにあたる地域はポルトガルの植民地となりました。そのため、ブラジルでは周辺の国々とは異なり、現在もポルトガル語が公用語として使用されています。南アメリカの文化を理解する上で、この言語の違いは非常に重要なポイントです。
問8	答え 4 南半球に位置するため北半球の国々とは季節が逆になり、さらに東岸では年間を通して湿った空気の影響を受けるため。	オーストラリアは南半球にあるため、太陽の南中高度や昼の長さの関係から、北半球が冬である1月ごろに夏（高温）となり、北半球が夏である7月ごろに冬（低温）となります。また、オーストラリアの東岸から南東部にかけては、湿った空気の影響や地形的な要因により、年間を通じて安定した降水量が得られる温暖湿潤気候などの特徴が見られます。これに対し、北部では乾季のあるサバナ気候、南部の一部では夏季乾燥する地中海性気候が見られるなど、同じ大陸内でも地域差があります。
問9	答え 1 リャマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培	アンデス高地は標高が高いために気温が低く、寒冷な気候条件となっています。このような環境に適応するため、高地では寒さに強い家畜であるリャマやアルパカの放牧が行われ、食料としては低温でも育つじゃがいもが主に栽培されています。サトウキビや天然ゴムは低地の熱帯気候に適した作物であるため、高地での栽培には適しません。
問10	答え 1 日本よりも東に位置し、日付変更線に近い ため、日本よりも早く日付が変わる。	ニュージーランドは、オーストラリアの南東に位置する太平洋の島国です。地球は西から東へと自転しているため、より東にある地点ほど早く太陽が昇ります。ニュージーランドは日本よりも東に位置し、経度180度付近に設定された日付変更線に近い ため、日本よりも数時間早く新しい一日が始まります。
問11	答え 2 モノカルチャー経済	特定の農産物や資源の輸出に頼る経済体制は、国際価格の暴落や天候不順による不作が国の経済全体に壊滅的な打撃を与えるリスクを孕んでいます。ブラジルはこの脆弱な経済構造から脱却するため、アマゾン川流域やカンボ・セラードと呼ばれる地域での大規模な農業開発を行い、大豆の生産を拡大させたほか、カラジャス鉄鉱山などの開発によって鉄鉱石の輸出を増やすなど、資源・食料供給地としての地位を確立しました。
問12	答え 4 コーヒー豆の輸出割合が低下し、鉄鉱石や大豆、原油などがバランスよく輸出される多角的な構造に変化した。	かつてのブラジルは、特定の農産物であるコーヒー豆の輸出に依存するモノカルチャー経済でした。しかし、現在はアマゾン盆地の鉄鉱石（カラジャス鉄山など）の採掘や、セラードと呼ばれる地域での大規模な大豆栽培、さらに海底油田からの原油生産が進んだことで、農産物と鉱産資源の両面で輸出品目が多角化し、国際価格の変動に強い産業構造へと変化を遂げています。